Pioneer sound.vision.soul

D6

スーパーオーディオCD プレーヤー
PD-D6

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  →あおむけや横倒し、逆さまにする。
  →押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  →じゅうたんやふとんの上に置く。
  →テーブルクロスなどをかける。

- **着脱式の電源コード(インレットタイプ)が付属している場合のご注意：**
  付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧(交流100ボルト 50 Hz/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

- お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(+)マイナス(−)の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

目次

準備する

特長

■ **クイックレスポンス電源回路**
本機は低損失でハイレスポンスな電源回路と低ESR（等価直流抵抗）コンデンサーを使うことによって、プロ用オーディオ機器のエッセンスを取り込んだ、原音に忠実なサウンドを実現します。

■ **低ジッタークロック回路搭載で「速い音」を実現**
本機は時間軸に関するジッターの影響を極力排除する低ジッタークロック回路を搭載しています。正確な信号伝達を行い、時間軸におけるレスポンスの速い音を実現します。

■ **レガートリンクコンバージョン PRO で「自然な音」を再現**
CDの再生周波数帯域を約４倍引き上げて再生することで、一般的なデジタルフィルターに比べ、滑らかで位相の変化が少ない自然な音の再現を実現します。

■ **ツイン D/A コンバーター搭載**
ツイン Burr brown D/A コンバーター（192 kHz/24 bit）をパラレル接続で使用し、S/N 比、リニアリティ、ダイナミックレンジ、歪率などのオーディオ性能が向上しました。これにより、微小な音楽信号までも再生でき、より開放的な音楽を再現します。

■ **ピュアオーディオモード搭載**
ディスプレイとデジタル出力をオフにすることにより、アナログオーディオ信号を最高の状態で再生します。

■ **世界最高峰のスタジオエンジニアとの共同音質チューニングの実施（協力：エアースタジオ）**

再生できるディスクの種類

• **下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。**

CD	SACD	CD	CD-R	CD-RW
	SUPER AUDIO CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc Recordable	COMPACT disc ReWritable

コピーコントロール CD について
当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類
DVD、CD-G、ビデオ CD

■ 本文中の表記について

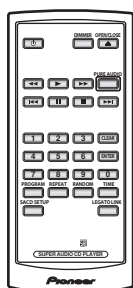
本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

SACD　市販の SACD（スーパーオーディオ CD）

CD(R/RW)　市販の音楽用 CD、または CDDA フォーマットで音楽が記録された CD-R/RW

WMA/MP3　WMAまたはMP3ファイルが記録された CD-R/RW/ROM

付属品の確認

■ リモコン× 1

■ オーディオコード × 1

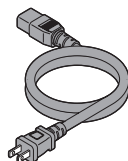
■ リチウム電池 (CR2025)* × 1

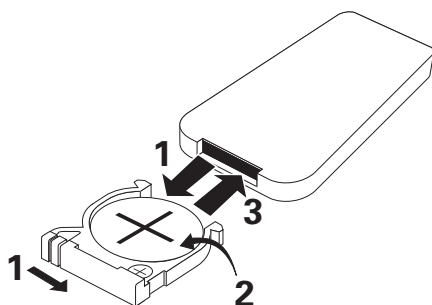
＊リモコンに内蔵されています

■ SR ケーブル× 1

■ 保証書

■ 取扱説明書(本書)

■ 電源コード× 1

リモコンに電池を入れる

電池はリチウム電池 (CR2025) を使用します。電池はあらかじめリモコンに挿入されているので、保護シートを引っ張って外してからご使用ください。

1 ツメを右へ押しながら電池ホルダーを引き出す

2 リチウム電池を ⊕、⊖ 正しく入れる

⊕側が、ホルダーの上面になるように入れます。

3 電池ホルダーをはめ込む

⚠ 警告

リチウム電池について

- 幼児の手の届かない所に置いてください。
- 万一飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。
- 分解、火に投入、充電、加熱、ハンダ付け、ショートはしないでください。
- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下する事があります。

☑ 注意

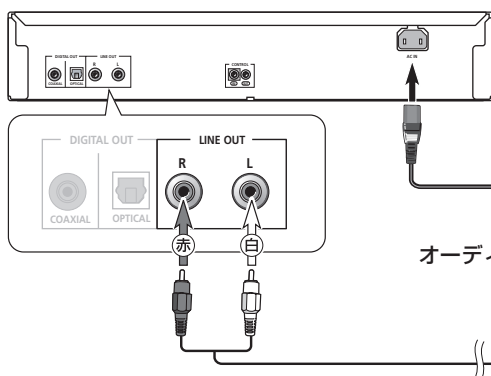
- 長い間（1 カ月以上）使用しないときは、リチウム電池の液漏れを防ぐためにリチウム電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しいリチウム電池を入れてください。
- 不要となったリチウム電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

接続

接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

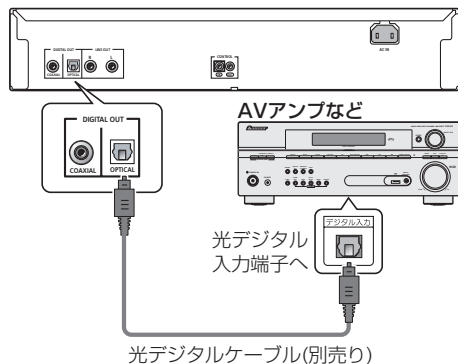
2 ch アナログ音声入力端子と接続する

付属のオーディオコードで接続します。

■ デジタル音声入力端子のある機器との接続

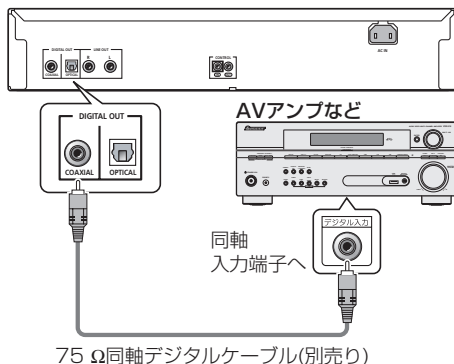
デジタル音声入力端子のある AV アンプやデジタル録音対応機器(MD、CD-R(CD レコーダー)、DATなど)とデジタル接続することができます。光デジタル端子と同軸デジタル端子に接続する2つの方法があります。

- 本機の光端子はシャッター式です。光出力端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

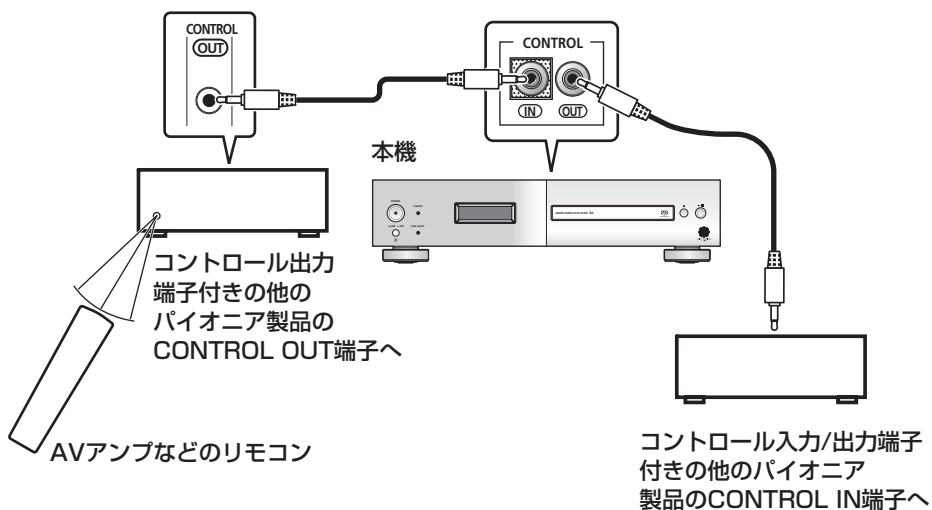
光デジタル音声入力端子のある機器と接続する

別売りの光デジタルケーブルで接続します。

光デジタルケーブル(別売り)

同軸デジタル音声入力端子のある機器と接続する

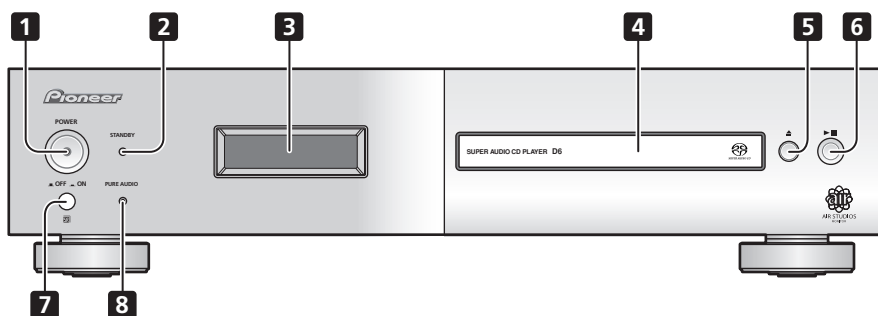
別売りの同軸デジタルケーブルで接続します。

75 Ω同軸デジタルケーブル(別売り)

コントロール端子の付いたパイオニア AV アンプなどと接続する

AV アンプなどのリモコンで本機を操作することができます。付属の SR ケーブルで本機のコントロール入力端子と AV アンプなどのコントロール出力端子を接続します。

☑ メモ

- システムコントロール接続するときは、付属のSRケーブル以外にアナログ音声ケーブルを必ず接続してください。
- システムコントロール接続したときは、接続した機器(AVアンプなど)にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けて操作することはできません。
- コントロール端子のない機器やパイオニア以外の製品とシステムコントロール接続することはできません。

各部のなまえ

本体前面

1 **POWER(▄OFF ▁ON)** — 主電源を入れる/切る(**P.13, 14**)。電源を入れるとインジケーターが点灯する。

2 **STANDBYインジケーター** — スタンバイ(待機状態)中に点灯する。

3 **表示窓(P.11)**

4 **ディスクテーブル(P.13)**

5 ⏏ — ディスクテーブルを開閉する(**P.13**)。

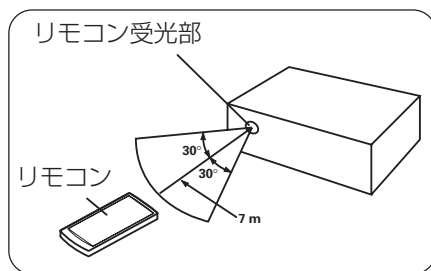
6 ► — ディスクを再生する(**P.13**)。
■ — ディスクを停止する(**P.13**)。

7 **リモコン受光部** — 約7 m以内の距離から、ここにリモコンを向けて操作する。

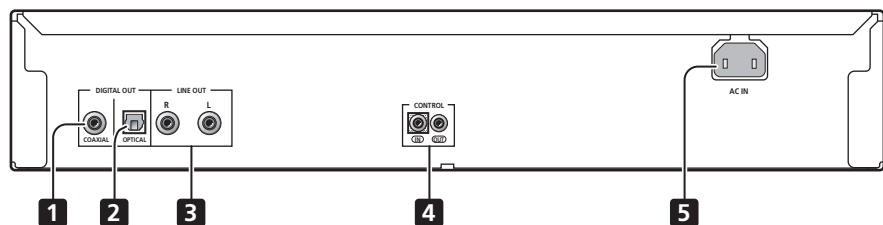
8 **PURE AUDIOインジケーター** — PURE AUDIOモードをオンに設定しているときに点灯する(**P.18**)。

リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、リモコンをフロントパネルのリモコン信号受光部に向けてください。

- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。
  逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

液晶表示素子(LCD)について
本機で使用している液晶表示素子は、温度により色が変化する性質を持っています。室温の高い部屋や大音量で長時間動作させた場合に色調が灰色に変化することがありますが、温度が下がれば元に戻りますので安心してご使用ください。

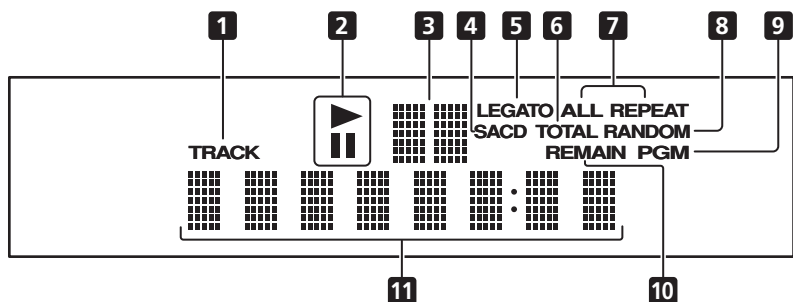
本体後面

1　**同軸デジタル音声出力端子(P.8)**

2　**光デジタル音声出力端子(P.8)**

3　**音声出力端子(P.8)**

4　**コントロール入出力端子(P.9)**

5　**AC IN端子**
必ず一番最後に接続してください。

表示窓

1　トラック番号が表示されているときに点灯

2　ディスクを一時停止または再生しているときに点灯

3　早送り/早戻しの速さを4段階(1～4)で表示する

4　SACDを再生しているときに点灯

5　レガートリンクをONに設定しているときに点灯

6　ディスクの総再生時間が表示されているときに点灯

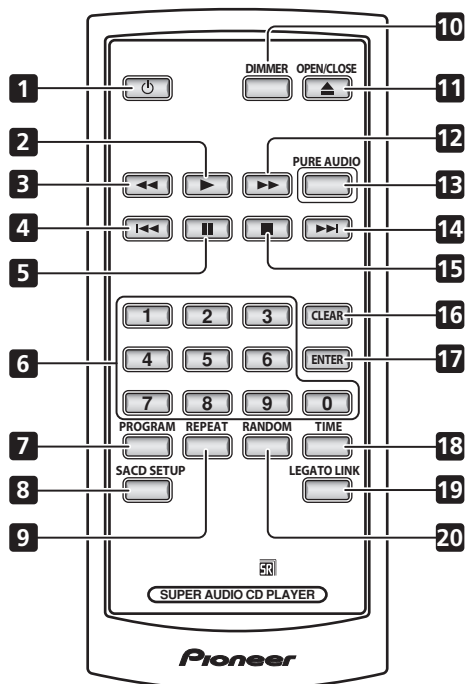
7　ディスクリピート再生中に点灯
(ALL REPEAT)
トラックリピート再生中に点灯
(REPEAT)

8　ランダム再生中に点灯

9　プログラム再生中に点灯

10　トラックの残り再生時間が表示されているときに点灯

11　いろいろな情報を表示する

リモコン

1　⏻ — 電源を入れる/スタンバイ(待機状態)にする(**P.13, 14**)。

2　► — ディスクを再生する(**P.13**)。

3　◄◄ — 再生中、音声の早戻しをする(**P.15**)。

4　⏮ — 現在再生中のトラックの始めに戻る(**P.15**)。

5　⏸ — 音声を再生中に押すと、音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る(**P.13**)。

6　**数字** — 聞きたいトラックを指定して再生したいときに使う。**数字ボタン**で選択して**ENTERボタン**を押す(**P.15**)。

7　**PROGRAM(プログラム)** — 好みの曲順に再生する(**P.17**)。

8　**SACD SETUP(SACDセットアップ)** — ハイブリッドディスクの再生エリアを切り換える(**P.18**)。

9　**REPEAT (リピート)**—曲を繰り返し再生する(**P.16**)。

10　**DIMMER(ディマー)** — 表示窓の明るさを変える(**P.18**)。

11　⏏ **OPEN/CLOSE** — ディスクテーブルを開閉する(**P.13**)。

12　►► — 再生中、音声の早送りをする(**P.15**)。

13　**PURE AUDIO(ピュアオーディオ)** — PURE AUDIO機能をオン/オフにする(**P.18**)。

14　⏭ — 次のトラックの始めに送る(**P.15**)。

15　■ — ディスクを停止する(**P.13**)。

16　**CLEAR(クリア)** — プログラム再生で設定した内容を取り消す(**P.17**)。

17　**ENTER(決定)** — 設定/選択した項目を実行する。

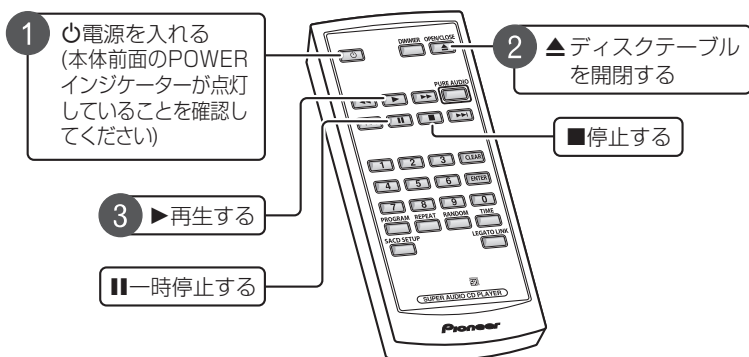
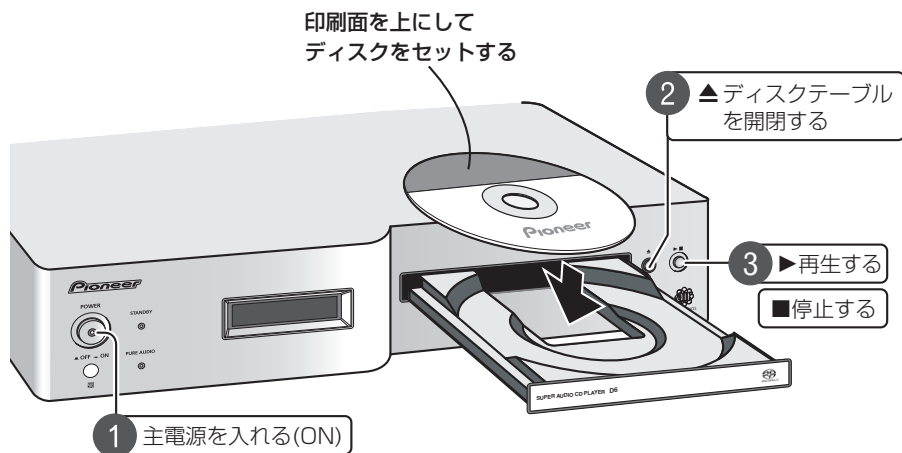
18　**TIME** — ディスクの経過時間や残量などを表示する(**P.17**)。

19　**LEGATO LINK(レガートリンク)** — LEGATO LINK機能をオン/オフにする(**P.18**)。

20　**RANDOM(ランダム)** — 曲を順不同に再生する(**P.16**)。

再生する

ディスクを再生する

手順番号に沿って操作して再生してください。

☑ メモ

- 「⏏ ディスクテーブルを開閉する」「▶ 再生する」「■ 停止する」の操作については、本体でもリモコンと同じように操作することができます。
- 本体の ▶/■ **ボタン**を押しながら ⏏ **ボタン**を押すと、1 曲目から順に、押した数だけトラックをスキップすることができます。
- リモコンの ⏻ **ボタン**は主電源がオフのときには、操作することができません。

■ 電源を切る

電源を切る前にディスクを取り出しましょう。

リモコンの ⏻ ボタンを押す

次回電源を入れるときは、リモコンの ⏻ **ボタン**を押して電源を入れてください。

☑ メモ

- 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の[-OFF-]表示が消えていることを確認してください。[-OFF-]表示中に抜くと本機の設定が工場出荷時の状態に戻ることがあります。
- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、必ず主電源を切る、または電源コンセントから電源コードを抜いておいてください。ただし、1カ月程度主電源を切ったり、電源コードを抜いた状態にしておくと、本機で設定した各種設定がリセットされますのでご注意ください。

Q&A

Q1: リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約 7 m の範囲内で操作することができます。
→ リモコンを他機器に向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください(**P.10**)。
→ 本機を蛍光灯の近くに設置していませんか？蛍光灯から離れた場所に設置してください。

Q2: ディスクテーブルを閉めても出てきてしまったり、再生ができない

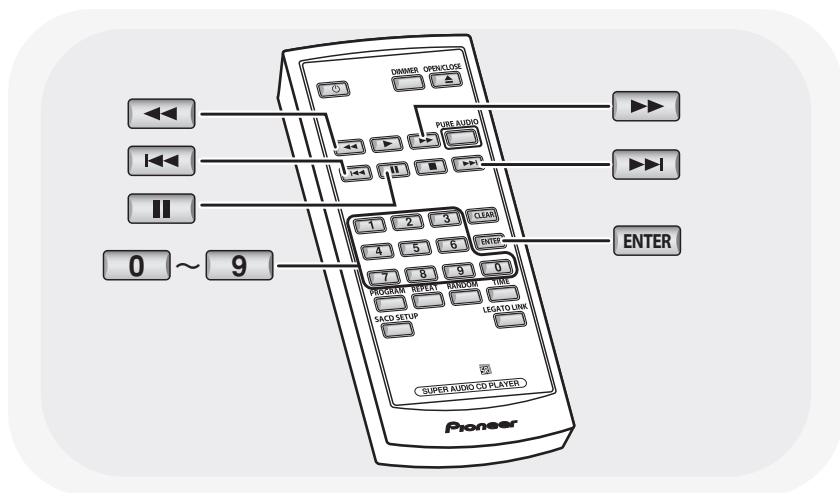
→ ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていますか？
→ ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。
→ 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください(**P.24**)。

Q3: CD(R/RW)が再生できない。

→ パソコンで作成されたCD(R/RW)は再生できないことがあります。

Q4: WMA/MP3が再生できない。

→ DRM コピープロテクト＊のかかった WMA ファイルを再生している。
→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。
→ サンプリング周波数が 44.1 kHz で記録されていないファイルを再生している。
→ 可変ビットレート(VBR)またはロスレスエンコーディングのWMAファイルを再生している。

＊ DRM (Digital Rights Management) コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するため録音時に使用した PC などの機器以外での再生を制限する機能です。
詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

早送り / 早戻し再生

再生中にリモコンの ▶▶(または ◀◀)ボタンを押す

- ボタンを押すたびに速さを４段階まで切り換えることができます。
- 通常の再生に戻すには ▶ **ボタン**を押します。

頭出し(スキップ)

再生中に ▶▶I(または I◀◀)ボタンを押す

- 押した数だけトラックをスキップします。

ダイレクトサーチ

数字ボタンでトラック番号を入力して、ENTERボタンを押す

- **ENTERボタン**を押さなくても、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します(プログラム再生時を除く)。

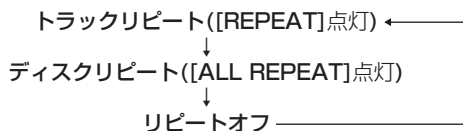
いろいろな機能を使う

繰り返し再生する(リピート)

再生している1曲だけを繰り返すトラックリピートと、ディスクの全曲を繰り返すディスクリピートがあります。

再生中に REPEAT ボタンを押す

リピート再生を開始します。押すたびにリピート再生の種類が切り換わります。

トラックリピート([REPEAT]点灯)
↓
ディスクリピート([ALL REPEAT]点灯)
↓
リピートオフ

☑ メモ

- ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。

順不同に再生する (ランダム)

すべての曲から順不同に選んで、各曲を 1 回ずつ再生します。

RANDOM ボタンを押す

ランダム再生を開始します。[RANDOM]が点灯します。すべての曲の再生を終了すると、自動的に停止します。

☑ メモ

- ディスクを停止するか、**ランダムボタン**をもう一度押すまで、ランダム再生を続けます。
- ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ランダム再生中に **▶▶I ボタン**を押すと、順不同に次のトラックを選択して再生します。また、**I◀◀ ボタン**を押すと、現在再生中のトラックの始めに戻り再生します。
- 現在再生中のトラックより前のトラックに戻ることはできません。

好みの順に再生する（プログラム）

聞きたい曲を最大 24 曲まで、好きな順番に登録することができます。

1 停止中に PROGRAM ボタンを押す
[PGM]が点灯します。

2 聞きたい曲の番号の数字ボタンを押して、ENTER ボタンを押す
15曲目を選ぶときは、数字ボタンの1と5を押してから、**ENTER ボタン**を押します。入力を間違えたときは、**CLEAR ボタン**を押します。

3 手順2を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録する

4 ▶ ボタンを押す
プログラムした順に再生を開始します。プログラムを追加したいときは、再度手順 1 ～ 2 を行います。

☑ メモ

- 停止中に **CLEAR ボタン**を押すと、プログラムされている内容をすべて消去します。
- 停止中に**PROGRAM ボタン**を押してから**CLEAR ボタン**を押すと、最後に登録した曲から順番に削除します。
- 一時停止をプログラムすることはできません。
- プログラム再生をディスクリピートする（全曲繰り返す）ことができます。プログラム再生中に **REPEAT ボタン**を押します(**P.16**)。
- プログラム再生をトラックリピートする（1 曲繰り返す）ことはできません。
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。
- プログラム再生中に **▶▶I ボタン**を押すと、次のプログラムのトラックを再生します。
- もう一度プログラム再生するときは、停止中に **PROGRAM ボタン**を押してから **▶ ボタン**を押します。

いろいろな機能を使う

ディスクの情報を見る

再生中に TIME ボタンを押す
- ディスクの経過時間や残量などを表示します。
- ディスクによっては、**TIME ボタン**を押すたびに表示内容が切り換わります。

☑ メモ

- WMA/MP3 はファイル名（先頭８文字）を表示します。ディスクのファイル名で使用する文字によっては正しく表示されない場合があります。

設定をする

アナログ音声を高音質で再生する

デジタル音声出力を遮断し、アナログ音声を高品位で再生します。オンに設定していると表示部の明るさはバックライトオフになります。お買い上げ時は、**オフ**に設定されています。

PURE AUDIO ボタンを押す

押すたびにオンとオフが切り換わります。オンにすると、本体の PURE AUDIO インジケーターが点灯します。

CDの音声を広がりのある音場で再生する

CDで通常カットされてしまう20 kHz以上の成分を、収録データをもとに補うことにより、自然で心地よいサウンドを再現します。お買い上げ時は、**オン**に設定されています。

LEGATO LINK ボタンを押す

押すたびにオンとオフが切り換わります。オンにすると、本体表示窓の**[LEGATO]**が点灯します。

SACDの再生エリアを切り換える

ハイブリッドSACDはSACD層とCD層の2層構造になっています。SACDセットアップで聞きたいエリアを選択します。

停止中に SACD SETUP ボタンを押す

押すたびにCDエリアとSACD2チャンネルエリアが切り換わります。

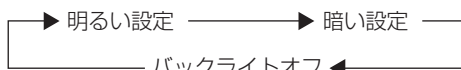
☑ メモ

- 本機はSACDマルチチャンネルエリアには対応していません。

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて表示の明るさを、明るい設定、暗い設定とバックライトオフの3段階に切り換えることができます。ディマー機能といいます。お買い上げ時は、**明るい設定**になっています。

DIMMER ボタンを押す

押すたびに明るさが3段階で切り換わります。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。商品のお取り扱いについてのご不明な点は、お買い求めの販売店様、または裏表紙に記載されているカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプ、またはスピーカーなどもあわせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、リモコンの⏻ **ボタン**を押して、表示窓の[-OFF-]表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。	
音が歪んでしまう。	● オーディオコードのプラグが十分差し込まれていますか？ ● 接続しているオーディオコードが断線していませんか？ ● オーディオコードのプラグや本機の音声出力端子、または接続したAVアンプなどの音声入力端子が汚れていたら、汚れを拭き取ってください。 ● ディスクが汚れていませんか？ ● 一時停止をしていませんか？ ● 接続した AV アンプなどの音量が最小になっていませんか？ AV アンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。 ● アンプの PHONO 端子には接続しないでください。	**8** **22** **13**
SACDとCDで音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
デジタル音声が出力できない。	● PURE AUDIO 機能がオンになっていませんか？オフに設定してください。 ● SACD ではデジタル音声を出力できません。アナログ音声出力端子の接続をしてください。	**18**

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、修理受付センターまたはお買い求めの販売店様にご相談ください。

再生できるディスクについて

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、またはWMAやMP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

WMA の再生について

- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数44.1 kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding)には対応していません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(**P.23**)には対応していません。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、フォルダーとトラックの数は合計で648 (うちフォルダー数は最大299) まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックを認識・再生できない場合があります。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

MP3 の再生について

- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数44.1 kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(**P.23**)には対応していません。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、フォルダーとトラックの数は合計で648 (うちフォルダー数は最大299) まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックを認識・再生できない場合があります。
- 音質的には、記録ビットレート128 kbps以上を推奨します。

☑ 注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。

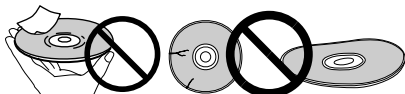
ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク(ひびや反りのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って、不具合が発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

- 本機では、丸いディスクのみ再生できます。特殊な形のディスク(ハート型や六角形など)は故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

- レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『**保証とアフターサービス**』(**P.25**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について

- 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

用語解説

ダイナミックレンジ

ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル(dB)単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力

音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

マルチセッション

CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

DRM コピープロテクト

DRM（Digital Rights Management）コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限するなどの機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

MP3

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

SACD

CDの規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACDには1層ディスク、2層ディスクとハイブリッドディスクの3種類があります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ちあわせています。

PCM

Pulse Code Modulationの略で、圧縮していない2チャンネルステレオデジタル音声です。CDのデジタル音声はほとんどこの方式です。

WMA

「Windows Media® Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

使用上のご注意

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの、安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらにリモコンの⏻**ボタン**を押し、表示窓の[-OFF-]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常､柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り､汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると､内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて１～２時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
  夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

仕様

形式 .... スーパーオーディオ CD プレーヤー
電源 .... AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 .... 15 W
.... 0.4 W（待機時）
本体質量 .... 5.5 kg
外形寸法（幅）×（高さ）×（奥行）
.... 420 mm × 100 mm × 340 mm
許容動作温度 .... ＋5 ℃～＋35 ℃
許容動作湿度
.... 5 %～ 85 %（結露のないこと）

音声出力(2ch)
音声出力レベル
.... 200 mVrms（1 kHz、－20 dB）
出力端子 .... RCA 端子ステレオ 2 系統
周波数特性
CD .... 4 Hz ～ 20 kHz
SACD .... 4 Hz ～ 50 kHz
S/N 比
CD .... 118 dB
SACD .... 110 dB
ダイナミックレンジ
CD .... 99 dB
SACD .... 108 dB
全高調波歪率
CD .... 0.002 %
SACD .... 0.003 %
ワウ・フラッター 測定限界以下
（± 0.001 %W.PEAK）

デジタル音声出力
光デジタル出力 .... 光デジタル端子
同軸デジタル出力 .... RCA 端子

付属品
オーディオコード 1
SR ケーブル 1
電源コード 1
リモコン 1
リチウム電池（CR2025）............................ 1
保証書 1
取扱説明書

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談
裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にご相談ください。

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき
P.19 に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」(裏表紙)をご覧になり、修理受付センターにご相談ください。

連絡していただきたい内容
- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名　スーパーオーディオCD プレーヤー
- 型番　PD-D6
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

修理のご相談 / 修理についてのお問い合わせ窓口

パイオニア製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理についてはお買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合は、窓口(裏表紙)へご相談くださるようお願いいたします。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

窓口	FAX	〒	住所
☆札幌サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

窓口	FAX	〒	住所
☆仙台サービスセンター	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX 024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービスステーション	FAX 019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

窓口	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX 03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX 03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

窓口	FAX	〒	住所
新潟サービスステーション	FAX 025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆千葉サービスセンター	FAX 043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX 0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆埼玉サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX 049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
☆神奈川サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX 045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
神奈川西サービス認定店	FAX 046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX 0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

窓口	FAX	〒	住所
☆名古屋サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービスステーション	FAX 054-237-5691	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ5号
金沢サービスステーション	FAX 076-269-4758	〒920-0362	金沢市古府1丁目178
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区				受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆大阪サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪北サービス認定店	FAX	06-6453-5666	〒531-0076	大阪市北区大淀中3-9-4
大阪南サービス認定店	FAX	0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土4-2
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX	075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区				受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆広島サービスセンター	FAX	082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX	087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1Ｆ
松山サービス認定店	FAX	089-951-6270	〒791-8067	松山市古三津5-10-35　商船ビル1Ｆ

●九州地区				受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆福岡サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
鹿児島サービスステーション	FAX	099-224-7692	〒892-0841	鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル2Ｆ
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄県				受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
沖縄サービスステーション	TEL FAX	098-879-1910 098-879-1352	〒901-2122	浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター3Ｆ

平成18年 7月現在　　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、『保証とアフターサービス』(P.25)をお読みのうえ、修理受付センター（裏表紙）に点検をご依頼ください。

K026_Ja

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■0070−800−8181−22　■一般電話　03−5496−2986

■ファックス　03−3490−5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーパイオニア）　■一般電話　03−5496−2023

■ファックス　0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−879−1910

■ファックス　098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　■一般電話　0538−43−1161

■ファックス　0120−5−81096

平成18年7月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.019

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<PRA1116-B>